

中央自動車道 全線開通40年



第9回高速道路と風景フォトコンテスト
特別賞「富士につづく道」佐々木 保
中央自動車道 山梨県大月市

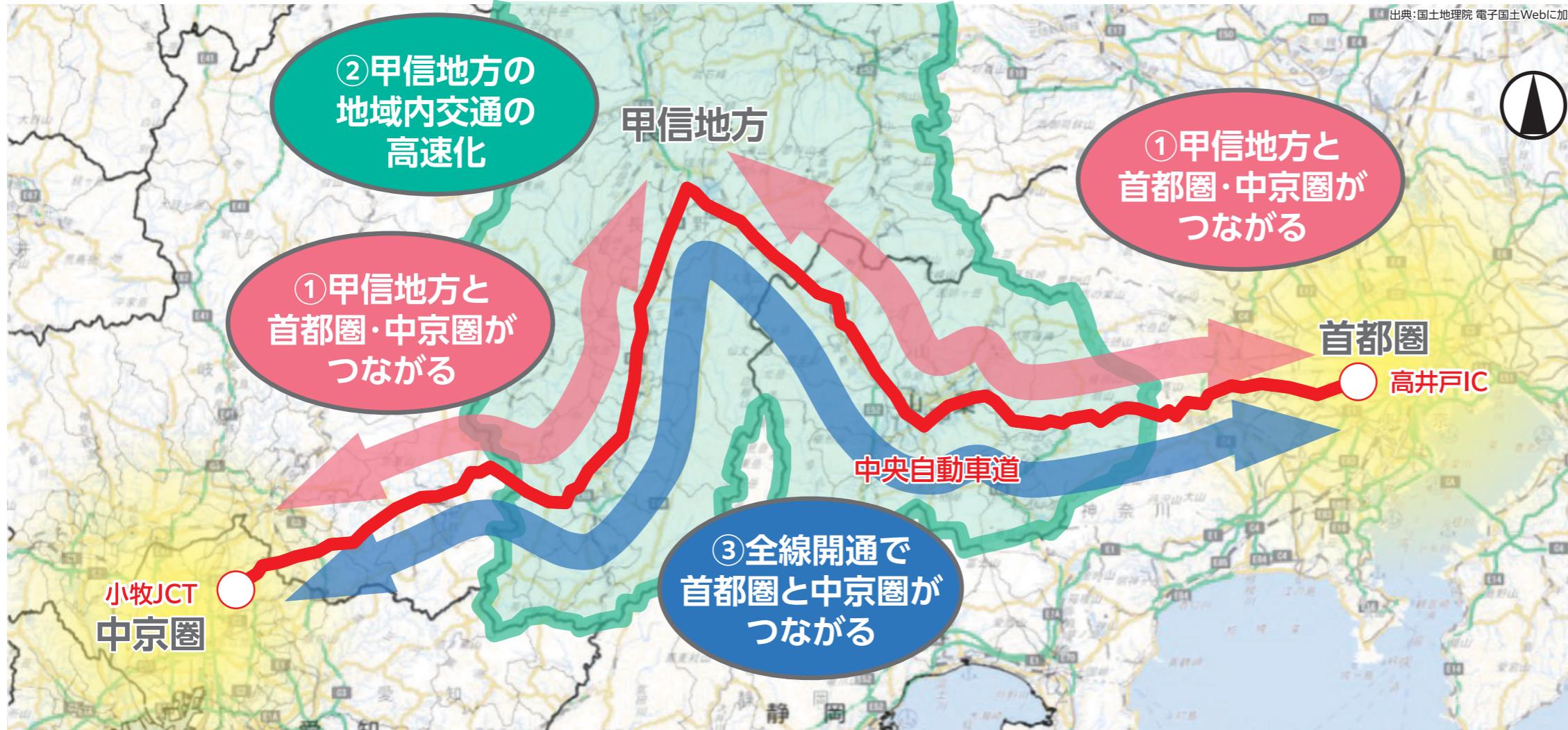
もっと安全に、もっとスムーズに

目 次

1. はじめに	3
2. インタビュー:全線開通による効果と将来への期待	5
3. 整備効果	
① 甲信地方と首都圏・中京圏がつながる	7
・産業および農産物・特産物の自動車輸送、観光産業などに貢献	
② 甲信地方の地域内交通の高速化	12
・沿線住民の生活や救急医療の支援	
③ 全線開通で首都圏と中京圏がつながる	14
・災害時などの東西交通(長距離迂回)の確保	
・工事時などの短距離迂回が可能に	
4. 整備による経済波及効果	15
5. 今後のネットワーク	16
6. 中央自動車道のあゆみ	17
7. 篠子トンネル天井板崩落事故の概要と安全性向上への取組み	17
8. 老朽化対策の取組み	18



第13回高速道路と風景フォトコンテスト 最優秀賞「朝霧湧く」
菊地 和夫(中央自動車道 山梨県上野原市)



第6回高速道路と風景フォトコンテスト 佳作「花桃ループ」
井戸田 千恵子(中央自動車道 園原IC)



第6回高速道路と風景フォトコンテスト 佳作「山間部を走る」
星野 郁男(中央自動車道 山梨県上野原市)

はじめに

建設開始から約20年、1982年に全線開通した中央自動車道は 2022年に40年を迎えました。

中央自動車道は、東京都杉並区から愛知県小牧市及び途中の山梨県大月市の大月JCTで分岐し山梨県富士吉田市を結ぶ総延長366.8kmの高速道路で、高井戸ICで首都高速道路に、八王子JCTで首都圏中央連絡自動車道(国道468号)に、河口湖(富士吉田)ICで東富士五湖道路(国道138号)に、岡谷JCTで長野自動車道に、双葉JCTで中部横断自動車道に、土岐JCTで東海環状自動車道(国道475号)に、小牧JCTで東名高速道路に接続しています。

■中央自動車道の開通と接続道路

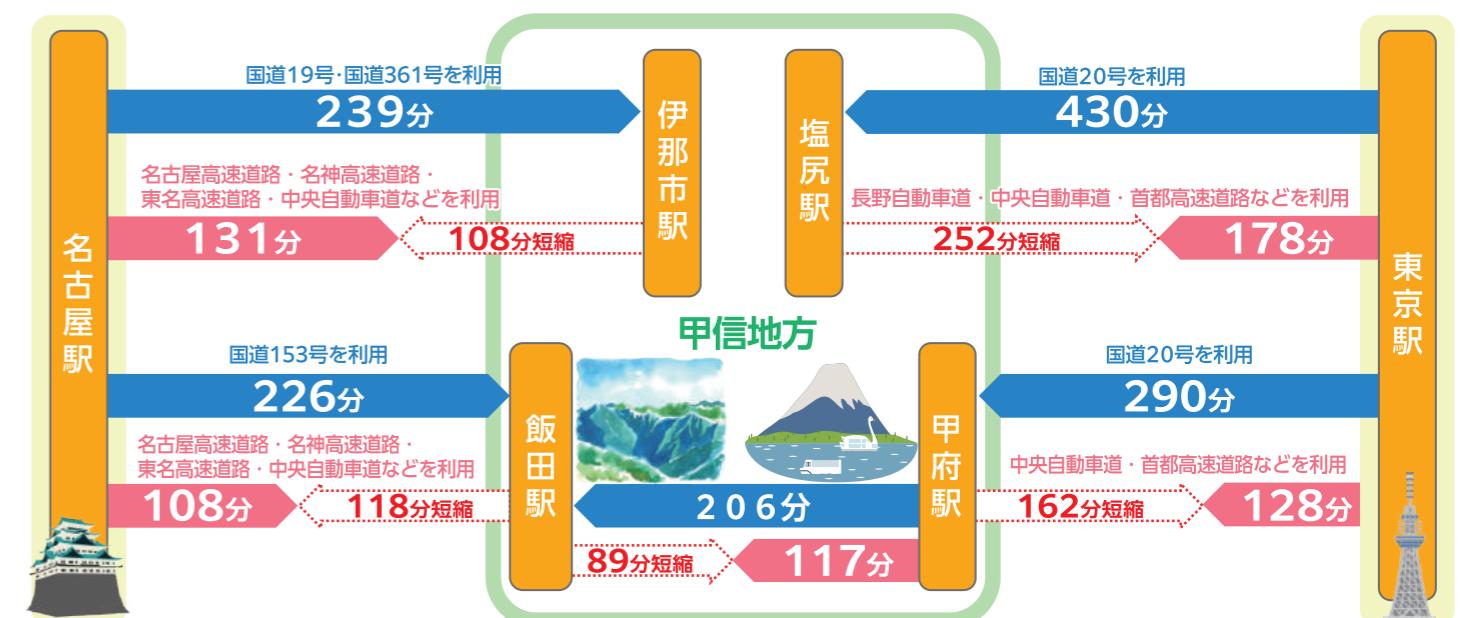


凡例

- 新規開通
- 接続道路



■中央自動車道の利用による時間短縮



出典:平成27年度全国道路・街路交通情勢調査一般交通量調査箇所別基本表 昼間12時間平均旅行速度

■中央自動車道の開通からの交通量

全線開通から1日あたりの平均利用台数が約2倍に増加しました。開通からの累計利用台数は2021年度末時点では約38億台になっています。

中央自動車道の1日あたりの平均利用台数・累計利用台数の変化



出典:NEXCO中日本資料

内陸部の発展に貢献し続ける中央自動車道



奥野 信宏 氏

OKUNO Nobuhiro

公益財団法人名古屋まちづくり公社
名古屋都市センター長

◀ 略歴 ▶

京都大学大学院農学研究科修士課程修了。経済学博士。名古屋大学経済学部長、副総長、中京大学商学部長、総合政策学部長、学校法人梅村学園理事・学術顧問などを歴任。国土審議会会长など、国土交通省をはじめ、政府の委員会で委員を歴任。また、中日本高速道路株式会社CSR懇談会でも委員を務めた。「新しい公共を担う人びと」など著書多数。

中央自動車道は我が国の時代を画す歴史的な高速道路

— 中央自動車道の建設から開通当時について

国土計画の長い歴史の中で考えますと、特に高度成長期、中央自動車道は、日本の時代を画する歴史的な高速道路になると期待されていました。

1つ目は中部内陸部を通過するため、日本の高速道路ネットワークの要になること、2つ目は内陸部の発展を促すことが期待されていました。そういう政策のシンボル的なものが中央自動車道だったと思います。

内陸部のものづくり産業・観光・農業の飛躍的な発展に貢献

— 中央自動車道の開通による時間短縮効果が産業や経済発展に与えた影響について

岐阜県東濃地域や長野県、山梨県の内陸部のものづくりは、中央自動車道とともに発展してきたと思います。

観光地としての飛躍も中央自動車道の存在は大きいです。近年の中央自動車道を活用した広域観光には特徴があります。観光資源を発掘し、一つのテーマごとにモデルコースをつくり、観光プロジェクトとして提案しています。いろいろな観光地を1日で回るのではなく、日帰りで何回かに分けて回る観光客が増えていると思います。日帰り感覚で捉えられているということも中央自動車道の効果だと思います。

農業は、中央自動車道の開通で大きく産業として変わってきています。アクセスが飛躍的に向上したことでの高付加価値化が実現していると思います。また、山梨県は首都圏をにらんだ近郊農業地域になっており、観光農業も盛んであまり時間を取られない楽しみとなっているようです。

沿線地域の一体感の強化と広域的な地域生活圏の形成

— 中央自動車道の開通が沿線住民の生活様式や文化等に与えた影響について

西側では恵那山トンネルの効果が大きいと思います。名古屋などからの利便性が向上し、沿線の一体感を強めています。広域的な医療や通学、買い物などが可能になり、広域的な生活圏ができると思います。

リニアとの相乗効果で大都市圏の生活が日常に

— 今後中央自動車道が果たすべき役割や期待について

内閣官房の国土強靭化に10年ほど関わってきましたが、その中で感じたことは中央自動車道の役割です。日本の要である首都圏と中京圏を結ぶ道路の中でも東名高速道路、新東名高速道路と比べ、中央自動車道は内陸部を走っており、リダンダンシーの強化に貢献しています。

リニアは高速道路との相乗効果が大きいです。甲信地域でも、首都圏や中京圏という大都市圏が日常になってきます。今後リモートワークが大規模に進展するのは、中央自動車道とリニアの沿線だと思います。

社会資本の維持管理はこれからの強靭な国土をつくるための基本

— 今後の維持管理(メンテナンス)のあり方について

昭和の終わりから平成の初めにかけて、社会資本が急速に整備され、今後、社会資本の老朽化が日本の重大問題になるとと言われていましたが、国土強靭化を推進することで、「荒廃する日本」は今のところ防げていると思っています。公共事業に対する偏見は今でも根強いが、「荒廃する日本」が現実にならないよう社会資本の機能を十分に發揮できる維持管理をしていただくことが大事です。

地域のライフラインとして中央自動車道とともに

丸山 荘 氏

MARUYAMA So

京王電鉄バス株式会社 取締役会長
公益社団法人日本バス協会
高速バス委員会委員長

◀ 略歴 ▶

京王帝都電鉄株式会社(現 京王電鉄株式会社)入社。西東京バス株式会社代表取締役社長、京王電鉄株式会社常務取締役、京王電鉄バス株式会社代表取締役社長などを歴任。



全線開通への期待、開通で首都圏が身近に

— 中央自動車道全線開通時の記憶について

私は安曇野市出身で、18歳で上京した時、中央自動車道は部分的に開通していました。車で帰省する際は、途中のICで降りる必要があり、いつも一般道で渋滞に巻き込まれていました。全線開通が待ち遠しかったですね。

中央自動車道の全線開通と、長野自動車道接続により、車で帰省する際の所要時間が格段に短くなりました。24時間いつでも思い立った時に大きな荷物を持って、ストレスなく往来できるようになり、甲信地方と首都圏が時間的・地理的に近くなったことを実感しました。

高速バス利用が拡大、ICが核となり周辺が発展

— 中央自動車道開通に伴う高速バスの普及について

高速道路ネットワーク整備と合わせて、中央高速バス*を拡充できたことは、バス事業者として、また、沿線出身者としても、二重にうれしかったです。

高速バスの可能性が多くの方に認知され始めたのは、新宿と伊那・飯田をつなぐ伊那飯田線の開業からです。伊那・飯田の周辺は、首都圏から鉄道で行くとき、途中乗り換えが必要で便利とは言えない地域でしたので、地元の方々にとても歓迎されました。開業当初から多くのお客さまにご利用いただいている。

また、松本線については、開通当初の利用は多くありませんでしたが、高速バスの利便性が浸透し、リピーターが増えていったことで、増便もおこない、多くのお客さまに支持されております。

*中央高速バスは、京王電鉄バス㈱と山梨県、長野県、岐阜県等の地元バス会社が共同で運行している、バスタ新宿を起点とした中央自動車道経由の高速バスの総称

— 中央自動車道開通に伴う地域の発展について

長野県の代表的な産業といえば精密機器です。昔は、たくさんの小さな工場が支えていましたが、今は集約化されて大きな工場群がICのそばにできています。

また、甲府南IC周辺には山梨大学医学部、山梨県立考古博物館などができ、ICを中心に賑やかに、人が集まるようになったことが印象的でした。

ネットワーク拡充によるアクセス向上に期待

— 今後の高速道路ネットワーク拡大の効果について

中央自動車道からのアクセスを考えると長野県佐久地域、岐阜県奥飛騨地域、福井県などは、途中山岳・山地に阻まれるため、まだ不便です。中部横断自動車道や中部縦貫自動車道が繋がれば、アクセスが格段に向上し、地域経済のさらなる活性化につながっていくと思います。これらの地域は自然も豊かで観光地も多く、インバウンド需要も見込め、ニーズも高いと考えており、高速バス事業者としても早期開通を期待しています。

時代のニーズに応えお客さまからの「信頼」を維持

— 交通体系の展望と中央自動車道や高速バスの位置づけ

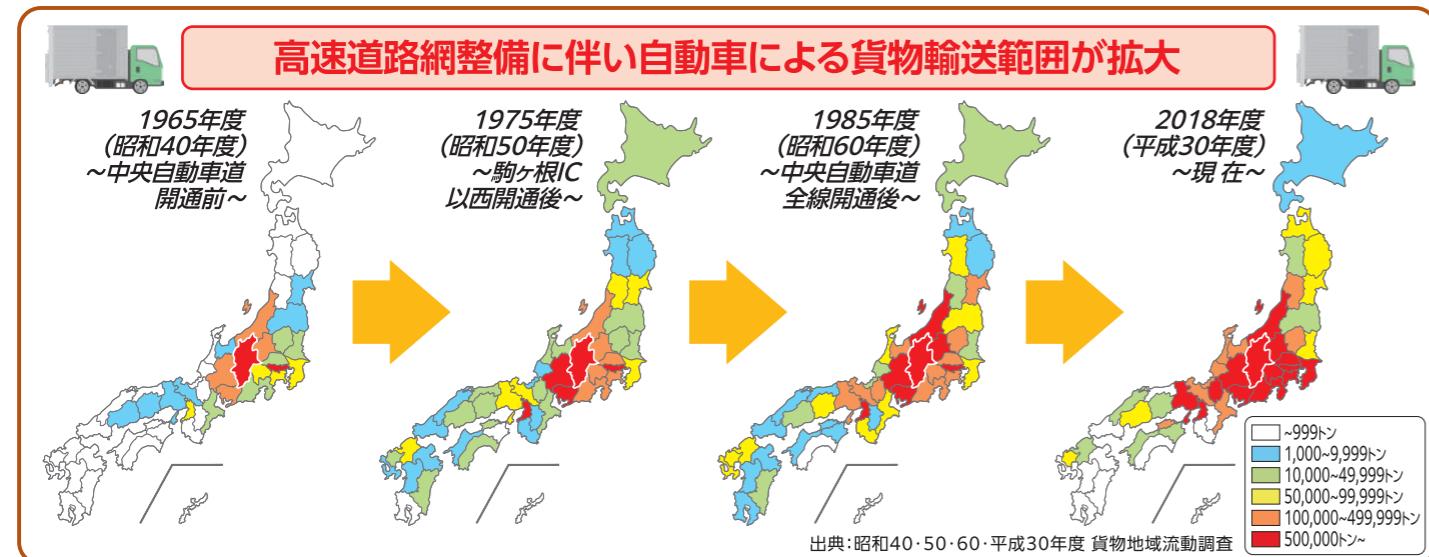
中央自動車道の大動脈としての役割は全線開通当時も、これからも変わりません。将来的にはリニアの開通、自動運転の進展、少子高齢化・人口減少などによって、交通体系は変化していくと思われます。公共交通である高速バスは、鉄道と比較して、乗降できる場所(停留所)が多い、運賃も安いなどの強みがあります。またそれぞれの地域で、災害時対応など重要な役割を果たしてきました。

これからも中央高速バスは、その時々の多様なニーズに応えていくことで、地域の皆様の信頼を維持し、必要不可欠な地域の皆様のライフラインとして、中央自動車道とともにサービスを提供し続けていきます。

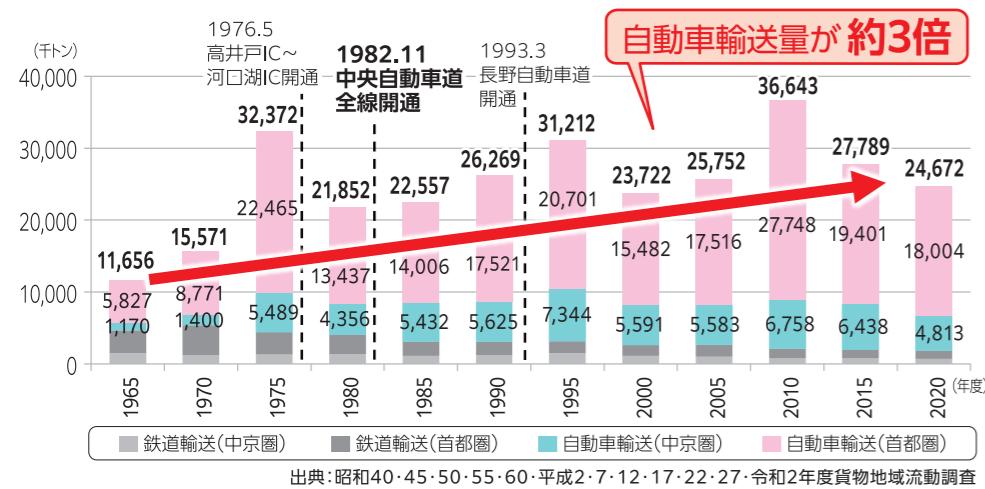
整備効果①甲信地方と首都圏・中京圏がつながる

貨物輸送量・輸送範囲が拡大、甲信地方貨物自動車輸送量が約3倍に

■長野県からの着地別の自動車貨物輸送量の変化



■甲信地方～首都圏・中京圏間の貨物輸送量の推移(輸送機関別・品目:総貨物)



入出荷に便利なIC周辺に工業の集積が進行

■岐阜県中津川市 中津川IC周辺の変遷



中央自動車道のIC周辺に工業団地が立地

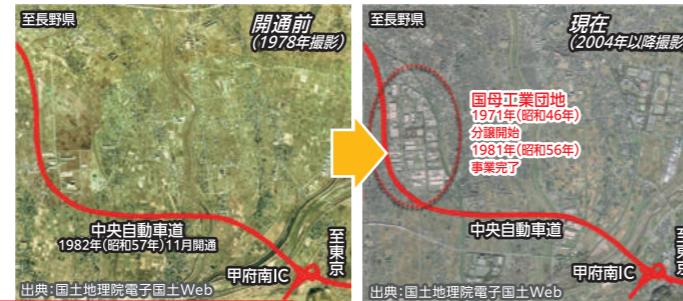
沿線企業の声

●岐阜県中津川市商工観光部工業振興課

中央自動車道開通後に中核工業団地が整備されました。ICから2kmというアクセス性のよさから、交通の便を立地条件とした企業ですぐに完売、現在も16企業が立地し、市内製造業従事者の約1/4にあたる約3,500人の雇用を生み出しています。

【自治体ヒアリング調査より】

■山梨県甲府市 甲府南IC周辺の変遷

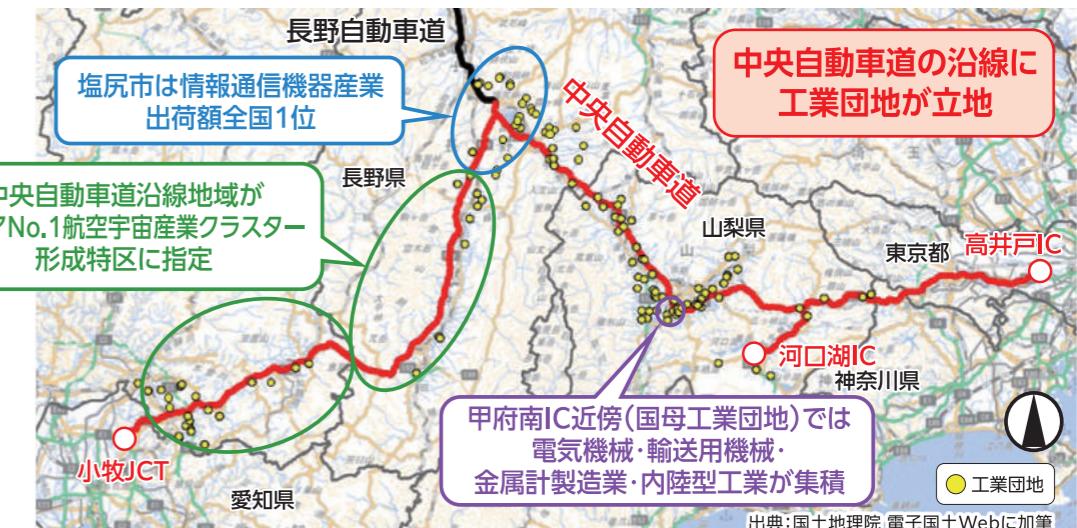


中央自動車道のIC周辺に工業団地が立地



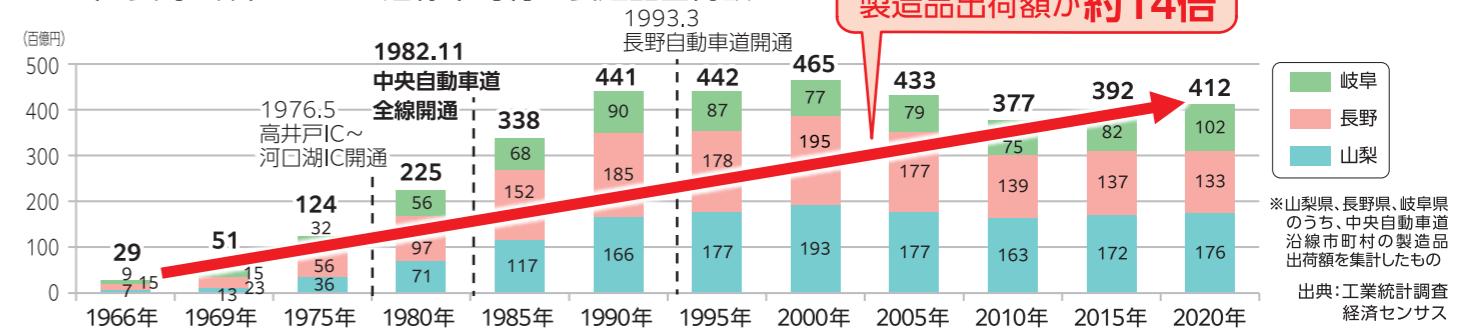
沿線市町村の製造品出荷額が約14倍に増加

■中央自動車道沿線の工業団地立地状況



出典：長野県(長野県工場適地ガイド/長野県産業立地ガイド/国土数値情報)、山梨県(山梨県の交通ネットワーク 工業団地地図)、岐阜県(企業立地ガイド岐阜/国土数値情報)

■山梨・長野・岐阜における沿線市町村の製造品出荷額



自動車や航空宇宙産業をはじめ多様なものづくり産業が集積

■中央自動車道沿線地域のアジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区指定事業所



「アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区」とは？

自動車に次ぐ、未来ある次世代産業へ

欧米先進地域と肩を並べ、アジア等新興国の追随を許さない航空宇宙産業の一大集積地の形成を図るため、総合特別区域法に基づき国から指定を受けた国際戦略総合特区です。

我が国最大の航空宇宙産業集積地である愛知・岐阜・三重・長野・静岡地域においては、国際戦略総合特区や自治体独自の施策に基づいて支援措置が手厚く講じられており、さらなる企業集積や航空機・宇宙機器の生産機能の拡大・強化を図っていくための環境が整備されています。

ジェット旅客機の需要予測結果



出典：アジアNo.1航空宇宙産業クラスター形成特区推進協議会資料

沿線企業の声

●航空宇宙産業クラスター形成特区指定事業者

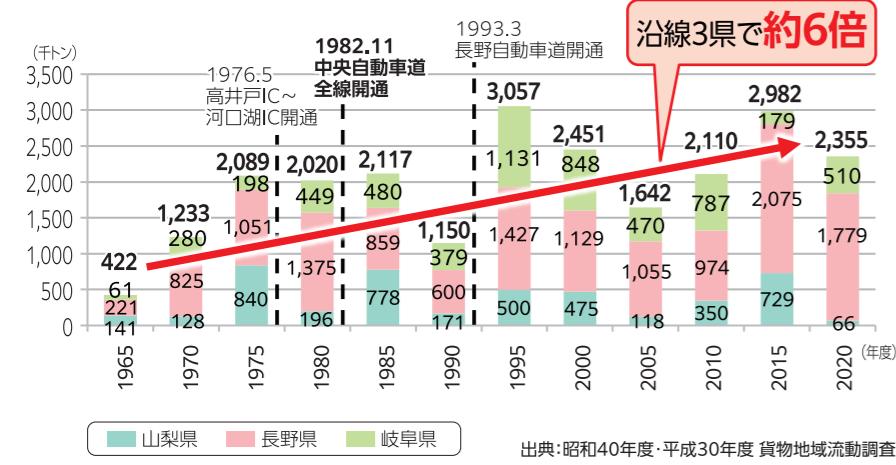
ICからのアクセスが5分以内と良好で、中京・関東・信越への移動が可能な範囲であるため現在地に立地しました。中央自動車道を利用することにより、名古屋へのアクセスがよくなり、材料取引から納品までの時間が従来より短縮されました。

【沿線企業ヒアリング調査より】

整備効果①甲信地方と首都圏・中京圏がつながる

農水産品の県外自動車輸送量は約6倍に

■沿線地域の農水産品の自動車輸送量の変化(県外向けの出荷)

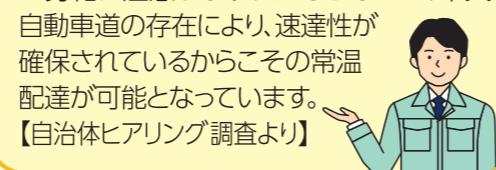


沿線自治体の声

●山梨県内自治体

ふるさと納税の返礼品として県内のフルーツを扱っており、高速道路を利用することで速達性が担保されているため、東北や関西方面にも1日で届けることができます。フルーツに関しては産地直送で常温の配送多いため、時間の経過による傷みや品質の劣化に注意しなければならないが、中央自動車道の存在により、速達性が確保されているからこそ常温配達が可能となっています。

【自治体ヒアリング調査より】

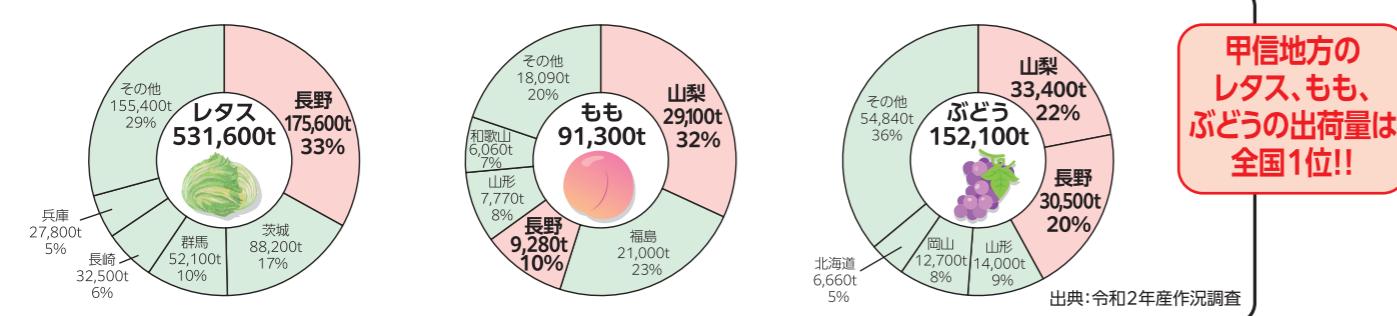


■沿線地域の農産品・特産品の出荷状況

甲信地方で収穫された
新鮮な農産物や特産の食料品が
中央自動車道を介して広く
首都圏・中京圏、
さらには阪神圏へも出荷

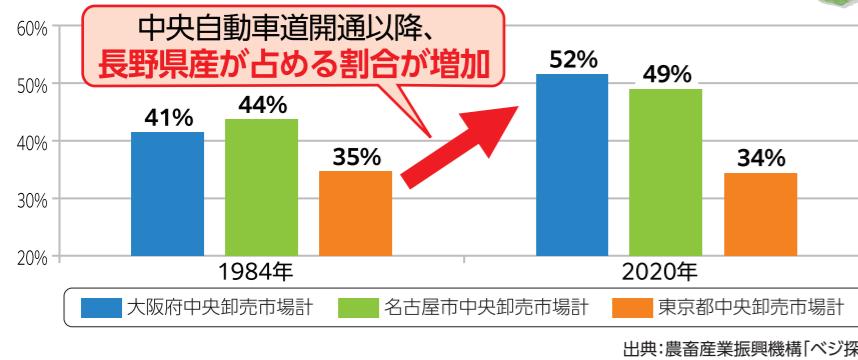


甲信地方が出荷量全国1位の主な農産物



甲信地方の
レタス、もも、
ぶどうの出荷量は
全国1位!!

■市場のレタス入荷量の内長野県産が占める割合の変化

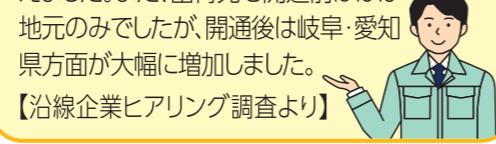


沿線企業の声

●農産物加工卸業者

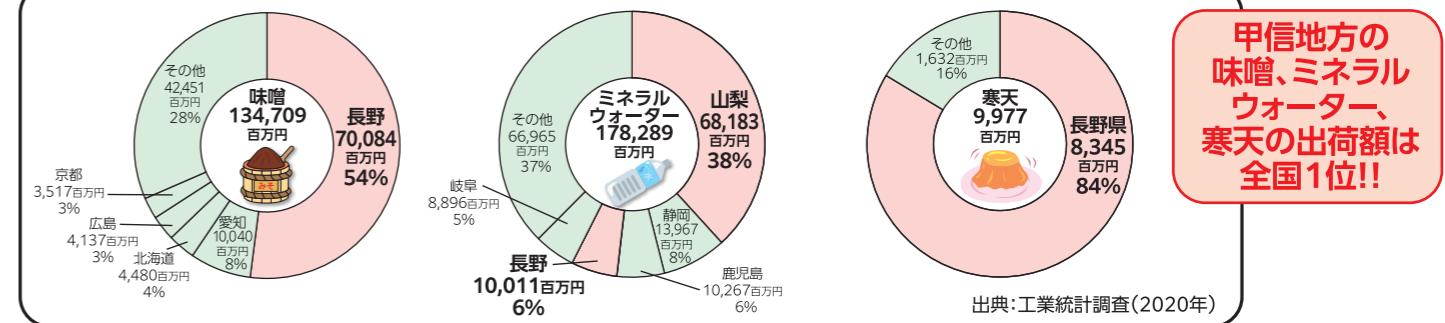
中央自動車道開通前は中京方面からの入荷が主でしたが、開通後は関東方面からの入荷も増えました。また、出荷先も開通前はほぼ地元のみでしたが、開通後は岐阜・愛知県方面が大幅に増加しました。

【沿線企業ヒアリング調査より】



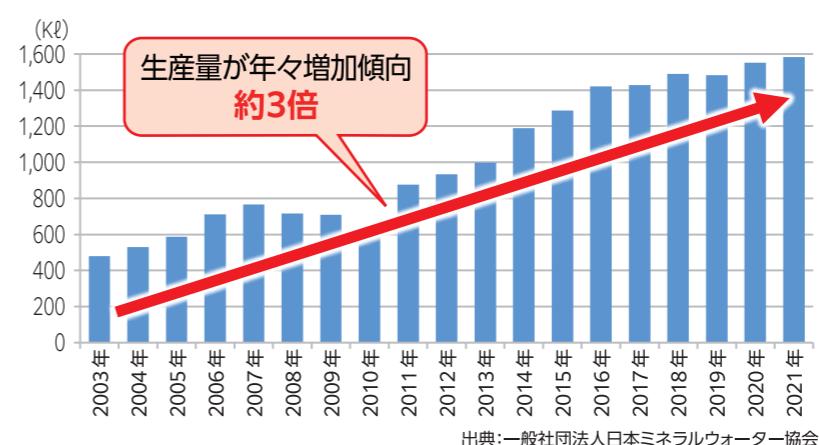
甲信地方の特産品が全国に出荷、販路拡大に寄与

甲信地方が出荷額全国1位の主な食料製造品



甲信地方の
味噌、ミネラル
ウォーター、
寒天の出荷額は
全国1位!!

■山梨県のミネラルウォーター生産量の推移



沿線企業の声

●製造業者

2021年のミネラルウォーター販売数は約44万ケースで、出荷先の約6割が東京方面であり、中央自動車道を経由して商品の輸送をおこなっています。中央自動車道の全線開通により、東京方面へのスムーズな商品移送が可能となった他、各方面からの資材納入輸送ルートが拡充できました。今後、中央自動車道を含む高規格幹線道路網のさらなる強化による、東海・関西方面への輸送効率向上にも期待しています。

【沿線企業ヒアリング調査より】



近年需要が拡大している地域生産品の販路の下支え

■地ビール製造量の推移(全国)



■醸造所分布図



沿線企業の声

●製造業者

ビールの主な出荷先は山梨県内、首都圏、名古屋、大阪です。首都圏へは中央自動車道を経由して1か月に800tのビールを出荷しており、最近はさらに出荷量が増加傾向にあります。

2022年5月にはレストランを併設開業し、レストランの営業時は首都圏からのお客様が多くご利用いただいており、中央自動車道は重要な路線と感じています。

【沿線企業ヒアリング調査より】



沿線企業の声

●南信州ビール(クラフトビール醸造所)※

大きな市場である首都圏・中京・近畿へのご注文の翌日配送が可能なのは、高速交通網の整備によるものであり、弊社のような立地でも安定してお取引できるのは中央自動車道なしでは考えられません。

【沿線企業ヒアリング調査より】



出典:南信州ビールHP

※長野県第一号のクラフトビール会社。
ウイスキー蒸溜所内にあり、試飲できる
BARや販売コーナーがある。

整備効果①甲信地方と首都圏・中京圏がつながる

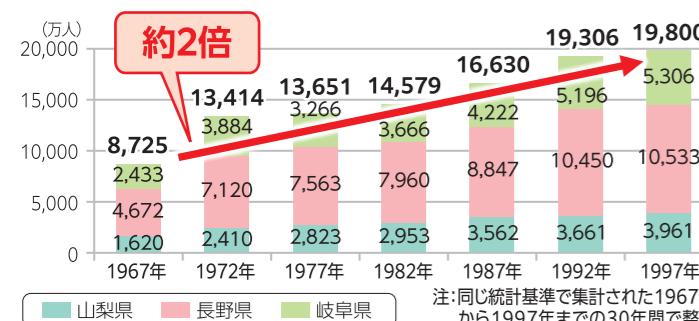
雄大な自然あふれる甲信地方、首都圏・中京圏から身近なリゾートに

■中央自動車道沿線の観光資源

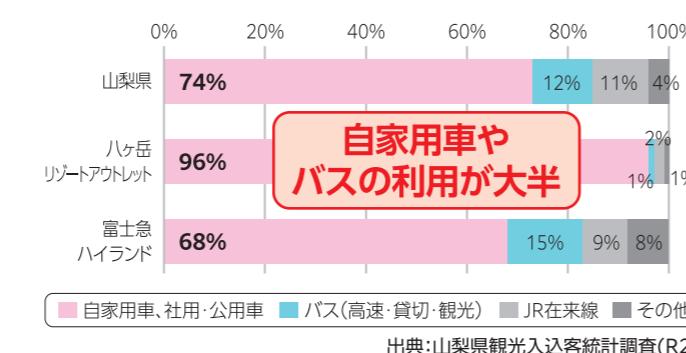
凡例	● 自然(行催事・イベント)	● スポーツ・レクリエーション	● 河川、海岸、峡谷等
	● 歴史・文化	● 都市型観光・買い物・食事	● 中央自動車道
	● 温泉・健康	● その他	● その他 高速道路



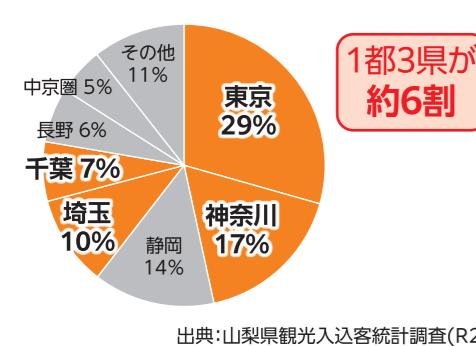
■山梨・長野・岐阜の観光入込客数の推移



■観光に利用した交通手段(山梨県)



■県外観光客の居住地分布(山梨県)



沿線企業の声

● 松本市内の観光関連団体

松本市は長野県の中心に位置し県内観光の拠点となっています。特に首都圏からの来訪客が多い傾向にあり、中央自動車道を利用し、首都圏だけでなく中京圏から多くの方が来訪しています。
【沿線企業ヒアリング調査より】

沿線企業の声

● 山梨県内の観光施設

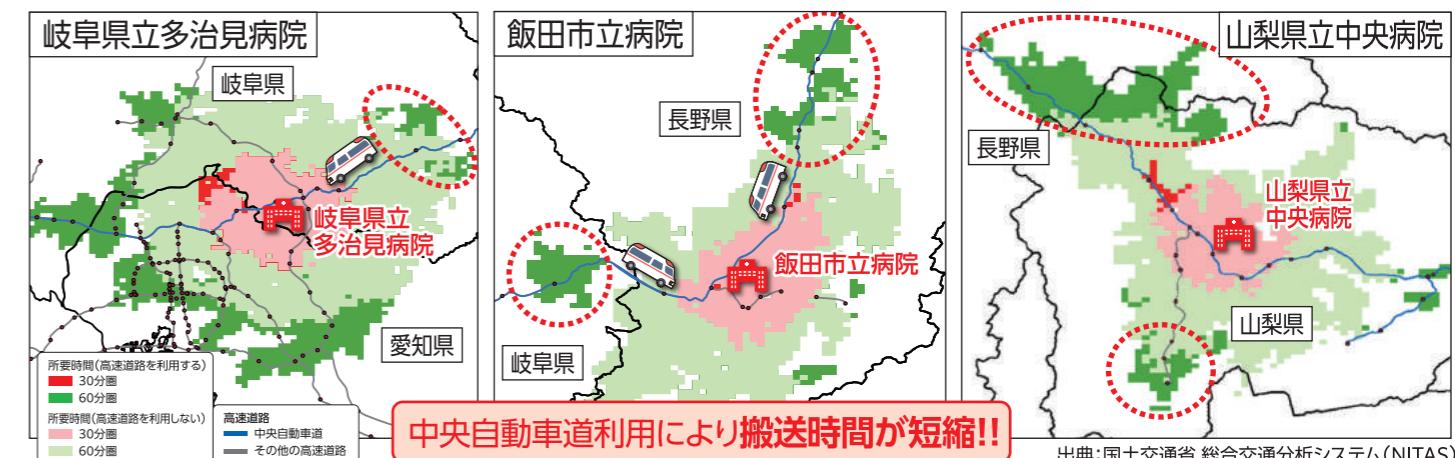
中央自動車道と接続路線による高規格道路網の強化により、遠方からの商圈が拡大しました。

【沿線企業ヒアリング調査より】

整備効果②甲信地方の地域内交通の高速化

救急医療の支援により生活の質向上

■中央自動車道沿線の第3次救急医療施設からの所要時間圏域の変化



消防関係者の声

● 瑞浪市消防本部

近年、コロナの影響もあり市外の高度医療が受診可能な県立病院へのニーズが高まっていると考えられます。市外の医療施設へ一般国道を利用すると渋滞などの影響で長時間搬送となり、傷病者・救急隊員の負荷が増加しますが、中央自動車道を利用することで搬送時間が短縮し、負担軽減だけでなく、治療開始が早まるため救命率向上につながっています。また、中央自動車道は救急車の振動が少なく、傷病者への負担が大幅に軽減されています。

【消防・医療関係者ヒアリング調査より】

医療関係者の声

中央自動車道により、峡北、大月、都留からの救急搬送は時間が短縮されました。遠くの地域では中央自動車道開通前は当院まで搬送できず近くの医療機関へ搬送していたケースも、中央自動車道の開通により当院へ搬送することができるようになりました。中央自動車道が開通していないければ、当センターに到着前に死亡する患者も多いのではないかと推測されます。

【消防・医療関係者ヒアリング調査より】

ワーケーションを活用した新たなライフスタイル

■山梨・長野・岐阜の主な避暑地



■二次的住宅・別荘用住宅軒数の推移



*二次的住宅・別荘用住宅とは、残業で遅くなったときに寝泊りするなど、たまに使用する住宅や週末・休暇時に避暑・避寒・保養などの目的で利用する住宅

沿線自治体の声

コロナ禍を契機とした意識の変化やテレワークの普及などにより、首都圏在住者の地方回帰への関心が高まっており、長野県への移住者数も増加しています。長野県への移住の主な動機の一つが「三大都市圏からのアクセスの良さ」となっており、信州の魅力、強みとなっています。

【自治体ヒアリング調査より】

沿線企業の声

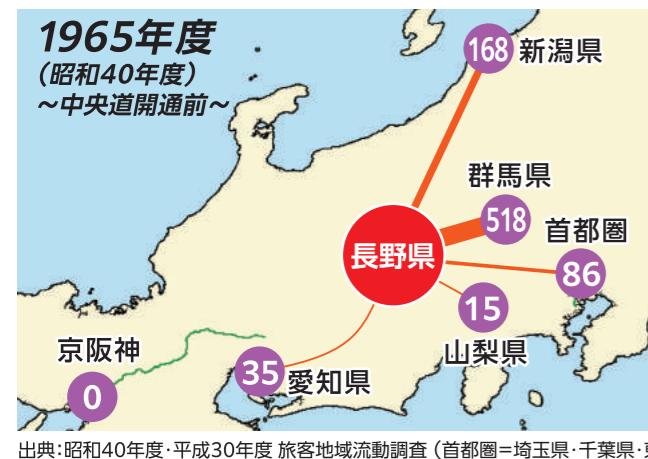
別荘地の購入を希望されるお客様は関東が8割でその移動手段の9割が自動車です。別荘に関する問い合わせは2020年以前に比べ2倍以上に増えており、直ぐに使用したい中古物件の問い合わせが多いです。

【沿線企業ヒアリング調査より】

整備効果②甲信地方の地域内交通の高速化

住民の日常生活を支援

■長野県発着の乗合バス旅客輸送人員の変化(単位:千人)



■高速バス拠点間の中央自動車道整備前後の所要時間



沿線企業の声

●バス事業者

中央自動車道の開通により地域外、特に大都市への移動時間が大幅に短縮されたため、各大都市への路線を開業することができました。開通前は鉄道主体であった大都市への移動が、バスで手軽に出かけられる身近なものとなり、輸送人員は年々増加、今では高速バスの収入が全体の収入の中で大きな割合を占めるまでに成長しています。【沿線企業ヒアリング調査より】



■リーグチームのアウェイゲーム時の移動時間短縮



沿線企業の声

●Jリーグチーム運営者

ヴァンフォーレ甲府は県内唯一のリーグプロクラブであり、中央自動車道があることで、県内各地からサポーターが訪れ、観客数を確保することができます。

また、首都圏から相手チームサポーターも多く来場することができ、観客数はチーム経営の上で貴重な収入源となるため、中央自動車道の存在意義は非常に大きいです。【沿線企業ヒアリング調査より】



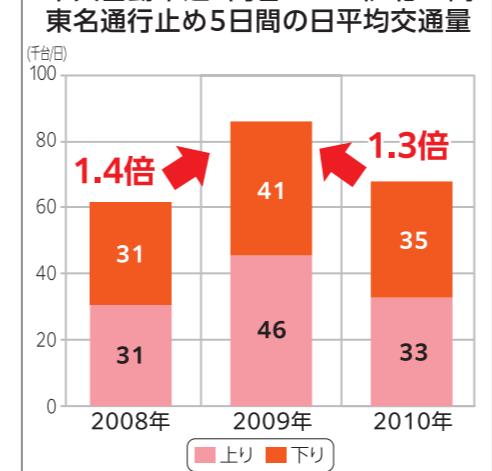
整備効果③全線開通で首都圏と中京圏がつながる

災害時などの東西交通の確保

■地震による東名高速道路通行止め時の迂回状況

2009年夏、地震により東名高速道路の牧之原付近で盛土崩壊が発生し、東名高速道路が通行止めとなった際には、中央自動車道の交通量が増え、迂回に活用されました。

中央自動車道 岡谷JCT~伊北IC間 東名通行止め5日間の日平均交通量



■富士山噴火時に東西交通を確保

富士山の噴火が発生した場合、溶岩流が流れ出し、南側の東名高速道路・新東名高速道路は最短3時間で到達する可能性があり、噴火間もなく道路が分断されるおそれがあります。中央自動車道は巨大災害発生時の東名高速道路の代替路として機能し、迅速な広域避難をおこなう上で重要な役割を担います。



ネットワークの広がりで短距離迂回が可能に

■中央自動車道を活用した迂回案内

中央自動車道が全線開通したことによって、東名高速道路の代替路としての役割を果たすことができるようになりました。1988年より東名高速道路の集中工事を開始しました。

当時は東名高速道路で車線規制を実施することで大規模な渋滞が発生していましたが、近年はネットワーク整備により短距離の迂回案内が可能になりました。

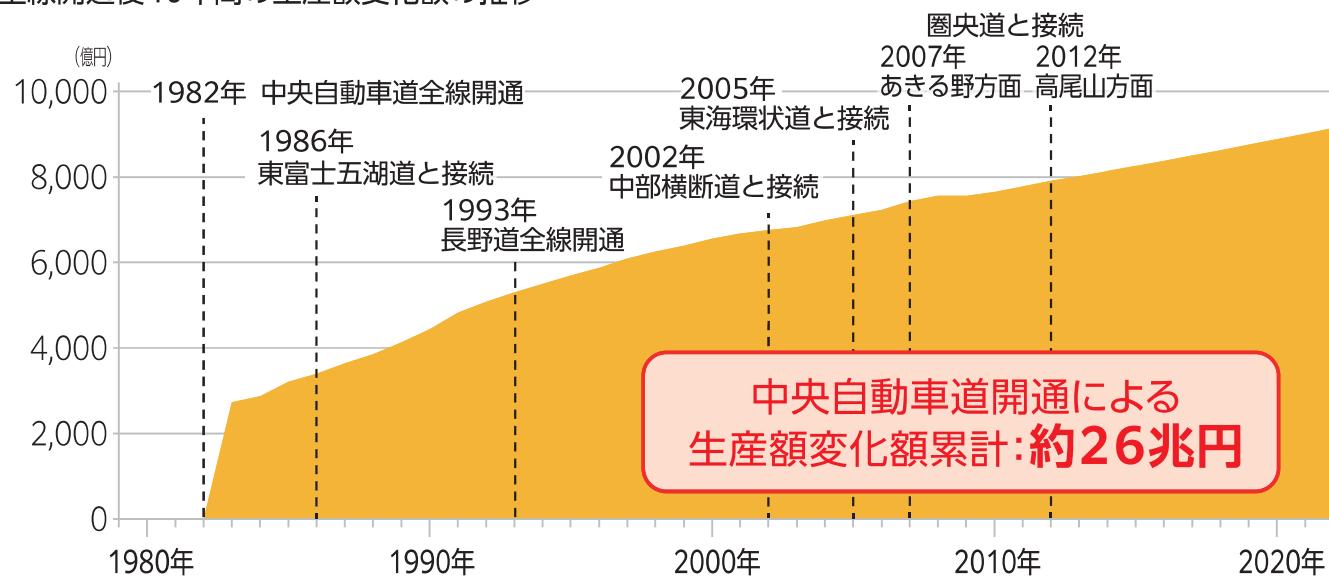
2022年11月に集中工事で東京IC~大井松田ICを車線規制した際には、①中央自動車道と東富士五湖道路などを活用した迂回経路と②中央自動車道と首都圏中央連絡自動車道を活用した迂回経路の2つの経路を案内しました。



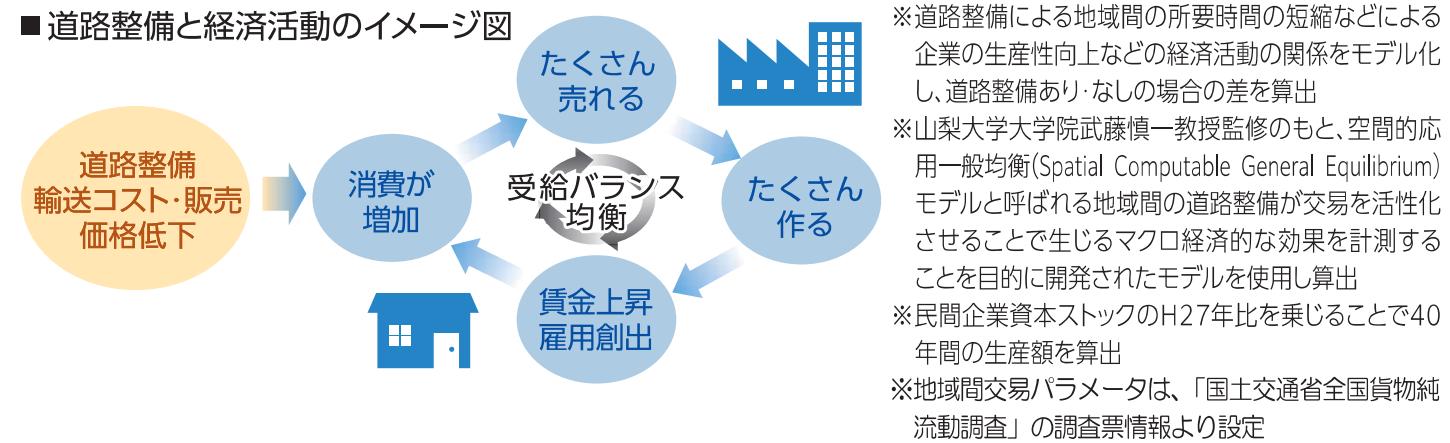
整備による経済波及効果

全線開通から40年の生産額変化額は累計約26兆円

■全線開通後40年間の生産額変化額の推移

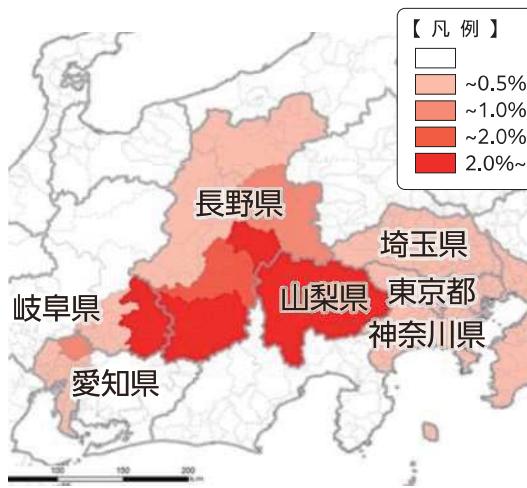


■道路整備と経済活動のイメージ図

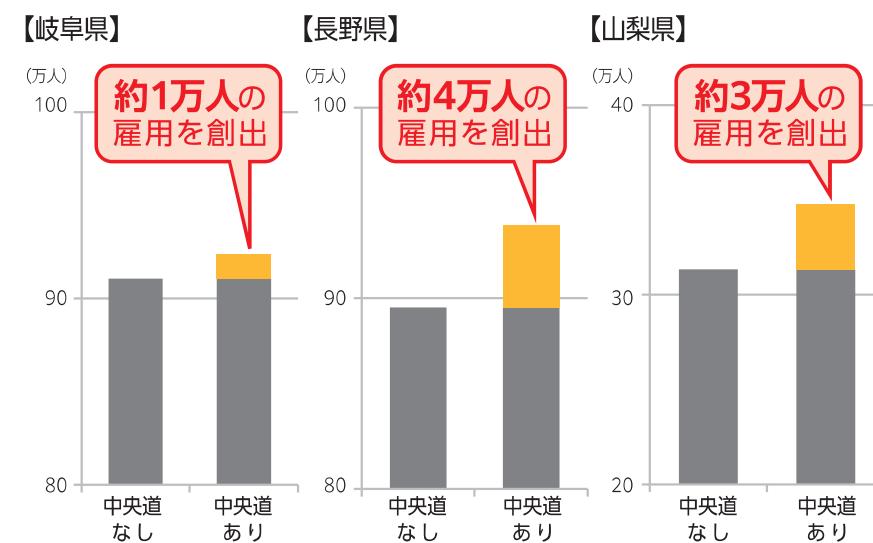


沿線3県(山梨・長野・岐阜)で約8万人の雇用が増加

■沿線3県の雇用者数増加率



■中央自動車道の整備による雇用者数の増加



中央自動車道あり:内閣府 県民経済計算における県内雇用者数

中央自動車道なし:上記から中央自動車道整備による雇用者増加数(NEXCO中日本が算出)除いた数

※道路整備による地域間の所要時間の短縮などによる企業の生産性向上などの経済活動の関係をモデル化(空間的応用一般均衡モデル)し、道路整備あり・なしの場合の差を算出

今後のネットワーク

中央自動車道は、東京都杉並区から愛知県小牧市までを神奈川県北部、山梨県、長野県南部、岐阜県南東部を経由して結ぶ高速道路であり、日本で最も幅広い中部地方の内陸部に位置し、日本の中央部の高速道路網の「かなめ」です。中部地方を縦断する東名高速道路、新東名高速道路及び北陸自動車道の中央に位置し、中部地方を横断する長野自動車道、中部横断自動車道や環状道路などとの接続により、複数の幹線道路を相互に連絡する役割を担っています。

中央自動車道の全線開通以降、1986年には長野自動車道及び東富士五湖道路、2002年には中部横断自動車道、2005年には東海環状自動車道、2012年には首都圏中央連絡自動車道と接続し、高速道路ネットワークが面として広がっていくことで、多様な経路選択が可能になりました。経路選択が多様化することによって、交通分散が図られるとともに、事故や災害などによる交通規制を迂回することも可能となり、渋滞の削減や目的地までの移動時間の短縮に寄与しています。

2021年には東富士五湖道路と新東名高速道路をつなぐ国道138号須走道路・御殿場バイパスが開通し、

東富士五湖道路と国道138号須走道路・御殿場バイパスを利用して中央自動車道と新東名高速道路が接続することとなりました。事業中又は計画中の道路である東京外かく環状道路、三遠南信自動車道、中部横断自動車道、中部縦貫自動車道についても、今後、既存高速道路と接続されることで、より効率的な高速道路の利用が可能になります。

また、中央自動車道に沿ってリニア中央新幹線の建設も進められており、山梨県甲府市南部への整備が計画されている山梨県駅(仮称)では、中央自動車道とスマートインターチェンジで直結することが計画されています。その他にも中央自動車道へのスマートインターチェンジの整備が各地域で進められており、リニア中央新幹線との連携強化に寄与すると考えております。リニア中央新幹線と高速道路ネットワークが有機的につながることで、国土の骨格に関わる高速交通ネットワークの多重性や代替性の強化が期待されます。

今後も人の移動と物流の両方を担う高速道路として、日本経済へ貢献してまいります。

■現在の高速道路ネットワーク図とリニア中央新幹線の計画



中央自動車道のあゆみ

西暦	経年	中央自動車道のあゆみ・周辺ネットワークとの接続	沿線・世の中のできごと
1962		中央自動車道富士吉田線 施行命令	1964 東京オリンピック開催
1966		中央自動車道西宮線 施行命令(～1971)	
1967		調布IC～八王子IC開通	
1968		八王子IC～相模湖IC暫定2車線開通	
1969		相模湖IC～河口湖IC暫定2車線開通(富士吉田線 全線開通)	
1972		多治見IC～小牧JCT開通	
1973		八王子IC～大月IC4車線化、瑞浪IC～多治見IC開通	
1975		中津川IC～瑞浪IC開通、駒ヶ根IC～中津川IC開通 (飯田IC～中津川IC間は暫定2車線開通)	
1976		高井戸IC～調布IC開通、首都高速道路と接続 伊北IC～駒ヶ根IC開通、韮崎IC～小淵沢IC開通	
1977		大月JCT～勝沼IC開通	
1980		甲府昭和IC～韮崎IC開通	
1981		小淵沢IC～伊北IC開通	
1982	全線開通	勝沼IC～甲府昭和IC開通、中央自動車道が全線開通(11月10日)	
1984		大月IC～河口湖IC4車線化	
1985		飯田IC～中津川IC4車線化	高速道路シートベルト着用義務化
1986		岡谷JCT開通、長野自動車道と接続 東富士五湖道路・富士吉田IC～山中湖IC開通 東富士五湖道と接続	1987 石和温泉が新日本観光地百選で3位に
1988		中央自動車道ではじめての集中工事実施	1994 松本空港 ジェット化
1992	10		1998 長野オリンピック開催
2002	20	双葉JCT開通 中部横断道と接続	2001 ETCサービス開始
2005		土岐JCT開通 東海環状自動車道と接続	
2006		中央自動車道初のスマートIC 双葉SAスマートIC開通	
2007		八王子JCT(あきる野IC方面)開通、首都圏中央連絡自動車道と接続	2011 東日本大震災
2012	30	八王子JCT(高尾山IC方面)開通、首都圏中央連絡自動車道と接続 中央自動車道・笹子トンネル上り線で天井板崩落事故(12月2日)	
2013		「安全性向上3力年計画」の策定	富士山世界遺産登録
2014		橋梁などの構造物に係る省令点検の義務化	
2016		高速道路リニューアルプロジェクト本格着手 『安全性向上への「5つの取り組み方針』策定	熊本地震
2019		「高速道路における安全・安心実施計画」策定	ラグビーワールドカップ日本開催
2021		安全啓発館の開設	東京2020オリンピック開催
2022	40	中央自動車道全線開通40年(11月10日)	

笹子トンネル天井板崩落事故の概要と安全性向上への取組み

【笹子トンネル天井板崩落事故の概要】

発生日時: 2012年12月2日(日曜日) 午前8時03分

発生場所: 中央自動車道 笹子トンネル(上り線)内(延長4.7km、大月JCT～勝沼IC間)

事故概要: 笹子トンネル(上り線)の東京側坑口から約1.5km付近で、トンネル内の換気のために設置されていた天井板及び隔壁板等が約138mにわたり崩落し、走行中の車両3台が下敷きとなり、うち2台から火災が発生しました。この事故で、9名もの尊い命が失われ、多くの方々が被害に遭われました。



当社が管理する中央自動車道 笹子トンネル(上り線)における天井板崩落事故により、9名もの尊い命が失われ、多くの方々が被害に遭われました。

お亡くなりになられた皆さま、ご遺族の皆さまに対しまして、深くお詫び申し上げますとともに、お亡くなりになられた皆さまのご冥福を心からお祈りいたします。

また、事故によってお怪我をされた皆さまや、ご迷惑をおかけした皆さまに心からお詫び申し上げます。

私たちは、事故を引き起こした責任を重く受け止め、

「二度とこのような事故を起こしてはならない」という深い反省と強い決意のもと、ご遺族の皆さま、被害に遭われた皆さまに真摯に対応するとともに、グループを挙げて、「安全文化」を常に高いレベルで維持し続けていくために、経営方針の最上位に「安全性向上に向けた不断の取組みの深化」を掲げています。

「安全」は当社グループの経営の根幹であり、すべての経営方針に結びつけることで、高速道路の安全性向上という永遠の挑戦課題に、グループを挙げて取り組んでいきます。

老朽化対策の取組み

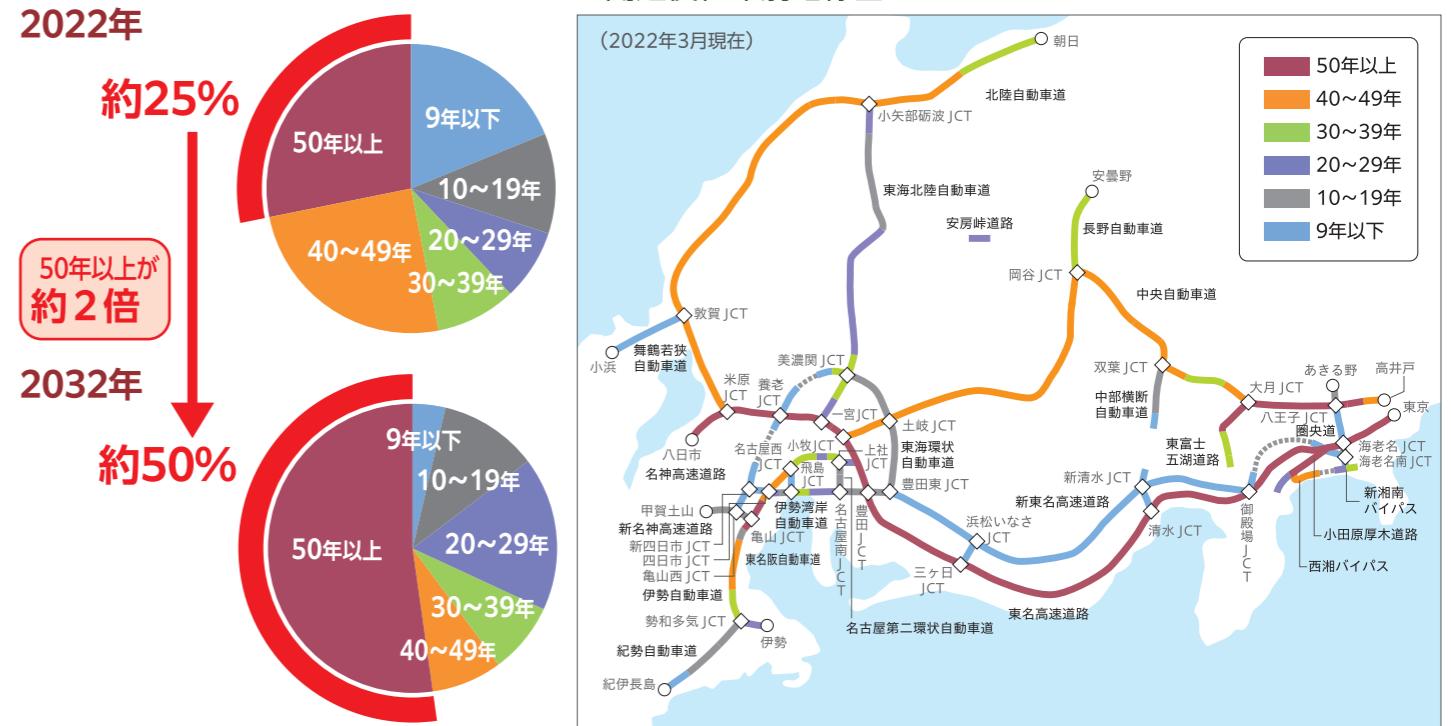
高速道路リニューアルプロジェクト

当社が管理する高速道路(高速自動車国道及び一般有料道路)は2,000kmを超え、供用から30年以上経過した道路が約60%、50年以上経過した道路が約25%を占めており、10年後の2032年には約2倍の50%を超過する予定です。

これに加え、大型車交通の増加、積雪寒冷地などでの凍結防止剤の使用などにより高速道路の橋梁・トンネル・土構造物の老朽化が進んでいます。

これらの課題に対し、構造物の最新の技術を用いて補修、補強し、建設当初と同等またはそれ以上の性能や機能を回復することで、高速道路をこれからも長く健全に保つ「高速道路リニューアルプロジェクト」に取り組んでいます。

■開通後経年別路線図



中央自動車道では、2018年春より中央自動車道リニューアル工事に着手し、2022年12月までに高井戸IC～伊北IC間で調布インター橋他2橋、園原IC～中津川IC間で松ヶ平橋他12橋、土岐IC～多治見IC間で深沢橋の床版取替などが完了しています。



中津川IC～園原IC間 松ヶ平橋
床版下面のはく落・鉄筋の腐食



中津川IC～園原IC間 新茶屋橋
撤去した既設床版



中津川IC～園原IC間 落合川橋
鋼橋の既設床版撤去状況



調布IC 調布インター橋
仮橋の夜間一括架設状況



伊北IC～岡谷JCT間 天竜川橋
鋼橋の新設床版架設状況



大月JCT～勝沼IC間 日川橋
PC箱桁橋のリニューアル実施状況

中央自動車道の今と昔

釣迦堂パーキングエリア(下り線)(山梨県笛吹市)付近からアルプスを望む

開通
当初



1982年(昭和57年)頃

現在



2022年(令和4年)

韮崎インターチェンジ(山梨県韮崎市)付近から富士山を望む

開通
当初



1976年(昭和51年)頃

現在



2022年(令和4年)

NEXCO中日本公式WEBサイト

通行料金など高速道路に関する各種情報を
ご確認いただけます。

<https://www.c-nexco.co.jp/>



NEXCO中日本お客様センター

0120-922-229 24時間年中無休
(通話料無料)

IP電話など一部の電話からはご利用できない場合があります。
その場合は052-223-0333(通話料有料)におかけください。

日本道路交通情報センター 最寄りの情報センターから
道路交通情報を入手できます

携帯電話・PHSのお客さまは**#8011**へ
固定電話のお客さまは以下の番号へ

全国共通ダイヤル 050-3369-6666

24時間年中無休(通話料有料)

<https://www.jartic.or.jp/>

お電話はおかげ間違いのないようご注意ください。

i Highway中日本(アイハイウェイ中日本)

24時間高速道路の道路情報を確認できます。

出発時間、走行ルート、休憩などの走行計画にお役立て
いただき、安全・安心・快適に高速道路をご利用ください。

<https://www.c-ihighway.jp/>

(PC、携帯、スマートフォン共通)



目で見るハイウェイテレホン (携帯電話専用サイト)

ハイウェイテレホンの文字情報が、WEBサイトで
ご覧いただけます。

<http://c-nexco.highway-telephone.jp/>



「みちラジ」による交通情報

高速道路を走行中のお客様の位置
情報をもとに、渋滞・事故・通行止めや
所要時間などを、スマートフォンに音声
でプッシュ通知によりお知らせする情報
通信アプリです。



道路緊急ダイヤル

高速道路などを利用中に「故障車」や「落下物」、「道路の損傷」などを見つけたら、
『#9910』道路緊急ダイヤル(通話料無料)にお電話ください。
交通事故の通報は警察(110番)へ